

資本剰余金

問題集p.73

資本剰余金

株主からの払込金のうち、資本金以外の部分で、**資本準備金**と**その他資本剰余金**がある。

何のため？：会社に関係があったときに、株主総会の了承を得れば使用できる資金となるため。
ニュースとかでは「内部留保」なんて言葉でも表現される。

資本準備金

会社法によって、一定金額を計上しなければならない準備金。会社法では、「**資本準備金と利益準備金を合わせて準備金**という。その他資本剰余金から配当する場合には、**配当額の10分の1を準備金の額が資本金の4分の1に達するまで**、その他資本剰余金から資本準備金に計上する。」とある。

なぜか？

悪意のある株主(自己の利益を最優先させる株主)が発生したときに、会社存続に必要な資金を根こそぎ配当として取っていくことを防ぐため。

その他資本剰余金

資本金や資本準備金を増減させるときに使用する勘定科目。**資本金・資本準備金を直接何かに使用することは出来ない。**

例 繰越利益剰余金の借方残高 1 0 0 を埋めるため、資本金 1 0 0 を取り崩した。

ダメな仕訳

資本金 1 0 0 / 繰越利益剰余金 1 0 0

正しい仕訳

資 本 金 1 0 0 / その他資本剰余金 1 0 0

その他資本剰余金 1 0 0 / 繰越利益剰余金 1 0 0

何で？→法律でこうしなさいと決まっているから。

別な例題 p.74 19-1(2)改

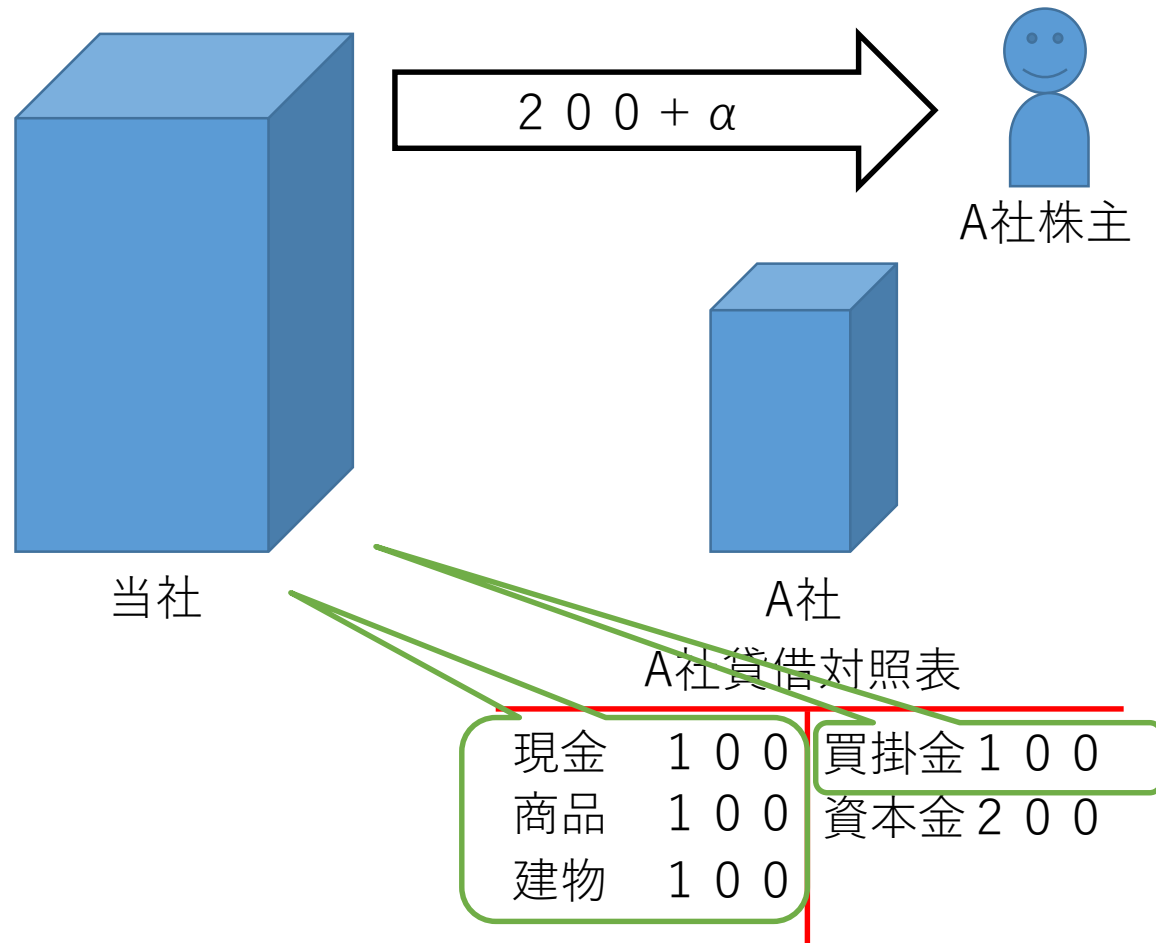
香川物産株式会社は、株主総会の特別決議に基づいて、資本金を減少し、これにより剰余金4,000,000の配当を行った。なお、配当額の10分の1を資本準備金に計上する。

仕訳

資 本 金	4,400,000	／	その他資本剰余金	4,400,000
その他資本剰余金	4,400,000	／	未払配当金	4,000,000
		／	資本準備金	400,000

まずは、資本金をその他資本剰余金に振り替えます。このとき振り替える金額は、**資本準備金に充てる10分の1を、問題で言われなくても振り替えておく**必要があります。

会社の合併：「のれん」と非常に似ています。（このスライドは再掲）



まず合併する会社（A社）の資産・負債は当社が自由に使えるようになるので、それらを増加させます。

現金 100 / 買掛金 100
商品 100
建物 100

A社株主に代金を支払います。今回は小切手を振り出したことにしましょう。

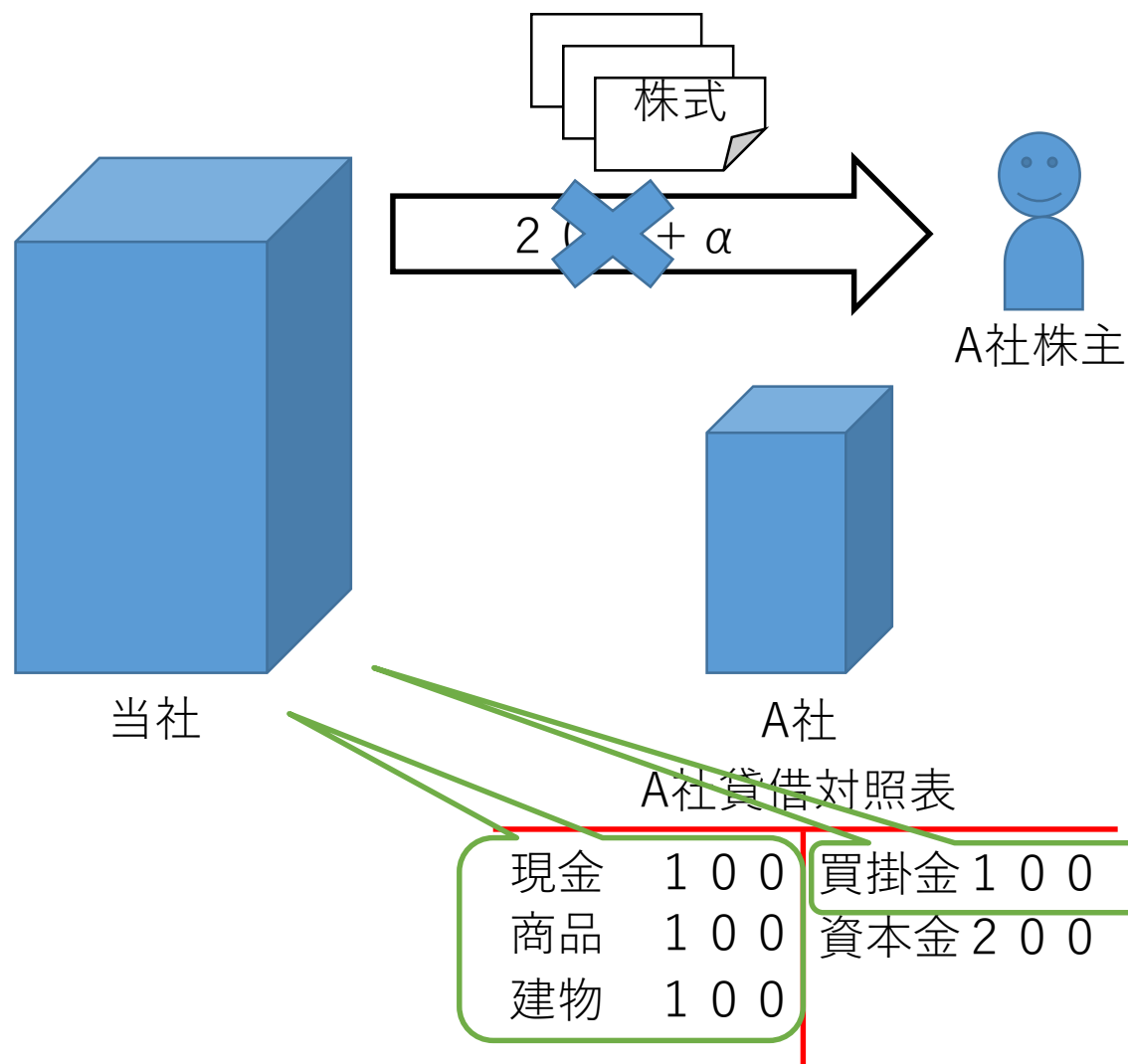
現金 100 / 買掛金 100
商品 100 / 当座預金 $200 + \alpha$
建物 100

借方と貸方の合計が合いません。差額を補充するために、「のれん」勘定を使います。

現金 100 / 買掛金 100
商品 100 / 当座預金 $200 + \alpha$
建物 100
のれん α

となります。

会社の合併：どこが違うの？→代金を渡す代わりに、株式を渡します。



まず合併する会社（A社）の資産・負債は当社が自由に使えるようになるので、それらを増加させます。

現金 100 / 買掛金 100
商品 100
建物 100

A社株主に株式を発行して渡します。株式を発行するため資本金を増額します。

現金 100 / 買掛金 100
商品 100 / **資本金 200 + α**
建物 100

借方と貸方の合計が合いません。差額を補充するために、「のれん」勘定を使います。

現金 100 / 買掛金 100
商品 100 / 資本金 200 + α
建物 100
のれん α

となります。

株式を発行した際に、資本金のほか、資本準備金・その他資本剰余金を増やす場合があります。